

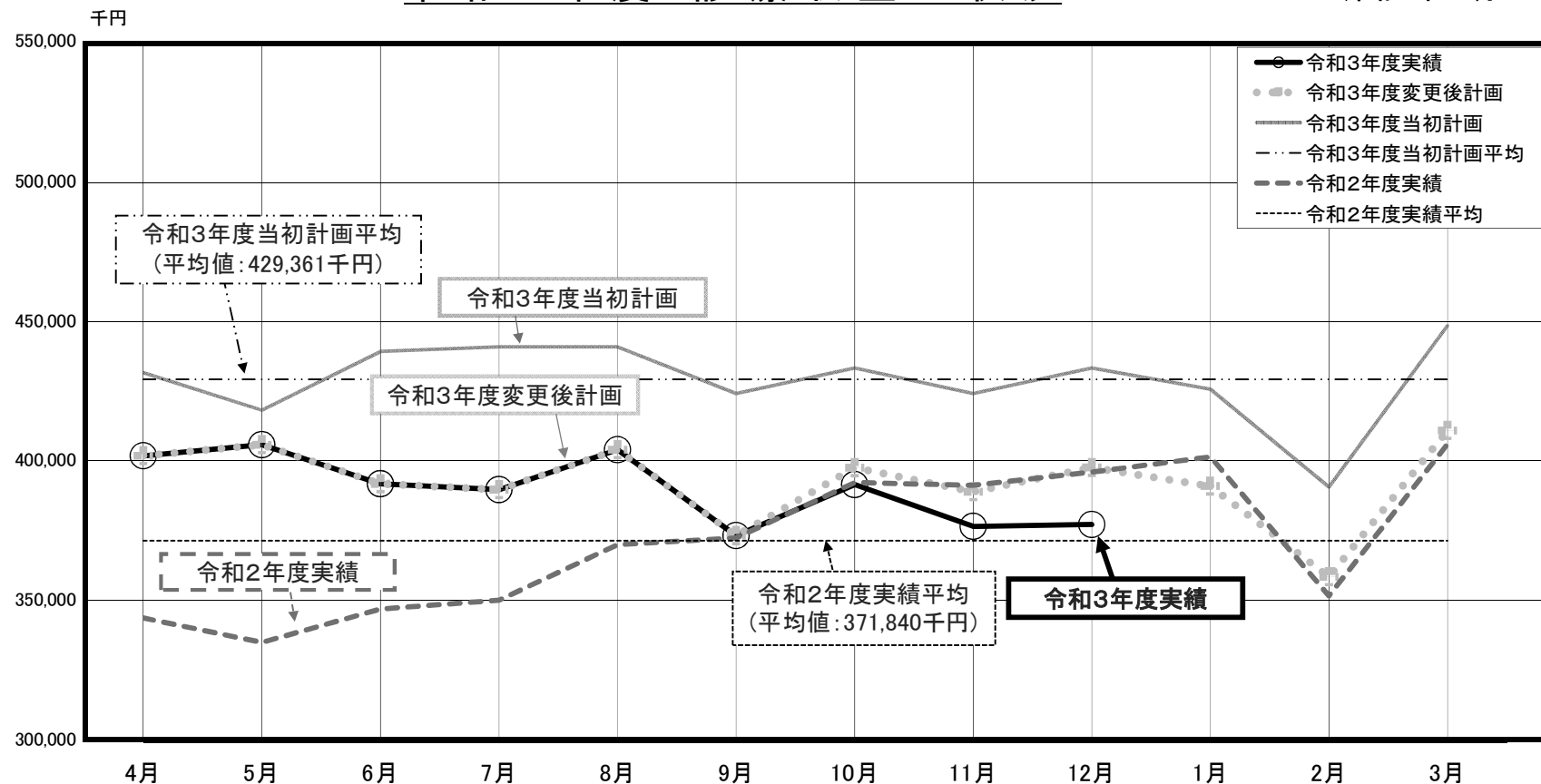
報告事項 資料

【目 次】

○令和3年度診療収益の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
○令和3年度病院事業経営状況調・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2  
○入院実績と計画（1日当たり患者数・診療単価等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3  
○外来実績と計画（1日当たり患者数・診療単価等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4  
○市立病院の経営再建に向けたロードマップ～主要な取組項目【進捗管理表】・・ 5～10  
○令和4年度 江別市病院事業会計予算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～22

# 令和3年度 診療収益の状況

(令和3年12月31日現在)



## 令和3年度

(単位: 千円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
当初計画額	431,822	418,395	439,335	440,953	440,953	424,303	433,435	424,303	433,437	425,922	391,005	448,472	5,152,335
変更後計画額	402,098	406,110	392,114	390,020	404,297	373,668	397,889	389,308	397,919	391,289	358,959	411,166	4,714,837
実績額	402,098	406,110	392,114	390,020	404,297	373,668	391,835	376,937	377,593				3,514,672
比較	当初	△ 29,724	△ 12,285	△ 47,221	△ 50,933	△ 36,656	△ 50,635	△ 41,600	△ 47,366	△ 55,844			△ 372,264
	変更後	0	0	0	0	0	0	△ 6,054	△ 12,371	△ 20,326			△ 38,751

## 令和2年度

実績額	344,265	335,579	347,510	350,661	370,440	372,872	392,594	391,606	396,279	401,770	352,157	406,347	4,462,080
-----	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------

# 令和3年度病院事業経営状況調

(4~12月)

## 1. 患者数及び診療収益の状況

※(入院:275日・外来:182日)

科名	患者数(人)									診療収益(千円)									科名	
	入院			外来			計			入院			外来			計				
	変更後計画	実績	比較	変更後計画	実績	比較	変更後計画	実績	比較	変更後計画	実績	比較	変更後計画	実績	比較	変更後計画	実績	比較		
診療部門	内科	8,205	7,724	△481	12,778	13,520	742	20,983	21,244	261	400,495	361,763	△38,732	216,954	232,171	15,217	617,449	593,934	△23,515	内科
	人工透析内科	0	0	0	6,135	6,070	△65	6,135	6,070	△65	6,502	6,440	△62	187,083	184,574	△2,509	193,585	191,014	△2,571	人工透析内科
	呼吸器内科	0	0	0	651	645	△6	651	645	△6	0	0	0	10,842	11,075	233	10,842	11,075	233	呼吸器内科
	消化器内科	2,350	2,239	△111	3,210	2,932	△278	5,560	5,171	△389	112,056	105,326	△6,730	46,980	41,493	△5,487	159,036	146,819	△12,217	消化器内科
	循環器内科	5,446	5,559	113	5,278	5,339	61	10,724	10,898	174	249,142	248,200	△942	56,883	57,807	924	306,025	306,007	△18	循環器内科
	小児科	2,366	2,281	△85	6,103	6,382	279	8,469	8,663	194	125,908	122,346	△3,562	73,805	76,836	3,031	199,713	199,182	△531	小児科
	外科	4,382	4,449	67	4,222	4,627	405	8,604	9,076	472	266,303	273,873	7,570	113,020	114,277	1,257	379,323	388,150	8,827	外科
	整形外科	10,764	10,178	△586	11,021	10,794	△227	21,785	20,972	△813	450,221	429,434	△20,787	70,945	68,834	△2,111	521,166	498,268	△22,898	整形外科
	産婦人科	4,133	4,109	△24	7,740	7,920	180	11,873	12,029	156	280,646	282,383	1,737	55,228	59,693	4,465	335,874	342,076	6,202	産婦人科
	皮膚科	0	0	0	3,354	3,392	38	3,354	3,392	38	164	177	13	9,834	9,955	121	9,998	10,132	134	皮膚科
	耳鼻咽喉科	784	769	△15	5,455	5,494	39	6,239	6,263	24	39,724	38,951	△773	38,612	39,174	562	78,336	78,125	△211	耳鼻咽喉科
	眼科	510	574	64	7,218	7,470	252	7,728	8,044	316	51,838	57,483	5,645	75,985	81,119	5,134	127,823	138,602	10,779	眼科
	泌尿器科	2,309	2,314	5	6,279	6,476	197	8,588	8,790	202	123,444	122,912	△532	109,833	107,707	△2,126	233,277	230,619	△2,658	泌尿器科
	ペイン麻酔科	793	838	45	2,875	2,881	6	3,668	3,719	51	34,582	36,791	2,209	16,284	15,513	△771	50,866	52,304	1,438	ペイン麻酔科
	脳神経外科	0	0	0	55	63	8	55	63	8	0	0	0	649	786	137	649	786	137	脳神経外科
小計	42,042	41,034	△1,008	82,374	84,005	1,631	124,416	125,039	623	2,141,025	2,086,079	△54,946	1,082,937	1,101,014	18,077	3,223,962	3,187,093	△36,869	小計	
精神科	7,954	7,773	△181	16,004	16,084	80	23,958	23,857	△101	203,102	200,465	△2,637	126,359	127,114	755	329,461	327,579	△1,882	精神科	
病理診断科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	病理診断科
初期研修医	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	初期研修医
計	49,996	48,807	△1,189	98,378	100,089	1,711	148,374	148,896	522	2,344,127	2,286,544	△57,583	1,209,296	1,228,128	18,832	3,553,423	3,514,672	△38,751	計	
一日平均患者数(人)	182	177	△5	541	550	9	723	727	4	46,886	46,849	△37	12,292	12,270	△22	23,949	23,605	△344	1人1日平均単価(円)	

## 2. 医業費用の状況

(単位 千円)

科目	変更後計画	実績	比較
給与費	2,726,441	2,743,268	16,827
材料費	675,935	660,709	△15,226
経費	844,649	838,097	△6,552
その他	23,368	11,409	△11,959
計	4,270,393	4,253,483	△16,910

## 3. 収支の状況

(単位 千円)

区分	変更後計画	実績	比較
診療収益	3,553,423	3,514,672	△38,751
その他医業収益	891,628	887,336	△4,292
医業収益計	4,445,051	4,402,008	△43,043
医業費用計	4,270,393	4,253,483	△16,910
医業収支差し引き	174,658	148,525	△26,133

## 4. 病床利用率

区分	当年度実績
一般+地域包括ケア	66.6%
一般	66.7%
地域包括ケア	66.2%
精神	76.4%
合計	68.0%

## 入院実績と計画（1日当たり患者数・診療単価・延患者数・入院収益）

入院診療日数	275				275				275				
	令和2年度 4月～12月実績				令和3年度 4月～12月計画				令和3年度 4月～12月実績				
	1日当患者数	診療単価	延患者数	入院収益	1日当患者数	診療単価	延患者数	入院収益	1日当患者数	診療単価	延患者数	入院収益	計画比
内 科	29.0	39,468	7,987	315,233,426	33.0	40,500	9,075	367,537,500	28.1	46,842	7,723	361,763,172	98.4%
呼 吸 器 内 科	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	—
消 化 器 内 科	8.2	44,897	2,243	100,703,528	11.0	46,000	3,025	139,150,000	8.1	47,042	2,239	105,326,360	75.7%
循 環 器 内 科	16.1	44,630	4,432	197,799,597	18.0	48,000	4,950	237,600,000	20.2	44,648	5,559	248,199,881	104.5%
人 工 透 析 内 科	0.0	0	0	6,605,321	0.0	0	0	8,250,000	0.0	0	0	6,439,624	78.1%
小 児 科	7.5	49,415	2,053	101,449,796	9.0	50,000	2,475	123,750,000	8.3	53,637	2,281	122,345,987	98.9%
外 科	14.6	56,020	4,013	224,808,086	18.0	59,000	4,950	292,050,000	16.2	61,559	4,449	273,873,857	93.8%
整 形 外 科	41.0	39,973	11,283	451,012,343	43.0	40,500	11,825	478,912,500	37.0	42,192	10,178	429,433,751	89.7%
脳 神 経 外 科	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	—
産 婦 人 科	13.6	69,080	3,730	257,668,599	15.0	69,500	4,125	286,687,500	14.9	68,723	4,109	282,383,388	98.5%
皮 膚 科	0.0	0	0	119,432	0.0	0	0	75,000	0.0	0	0	176,737	235.7%
耳 鼻 咽 喉 科	2.1	51,898	565	29,322,568	3.0	53,000	825	43,725,000	2.8	50,651	769	38,950,560	89.1%
眼 科	2.1	96,755	588	56,891,974	4.0	97,000	1,100	106,700,000	2.1	100,145	574	57,483,026	53.9%
泌 尿 器 科	8.2	54,420	2,247	122,282,235	10.0	55,000	2,750	151,250,000	8.4	53,117	2,314	122,911,705	81.3%
麻 酔 科	5.7	39,999	1,558	62,318,867	6.0	40,500	1,650	66,825,000	3.0	43,903	838	36,790,935	55.1%
精 神 科	29.8	24,591	8,199	201,620,682	30.0	25,300	8,250	208,725,000	28.3	25,790	7,773	200,465,220	96.0%
合 計	177.8	43,516	48,898	2,127,836,454	200.0	45,660	55,000	2,511,237,500	177.5	46,850	48,806	2,286,544,203	91.1%

外来実績と計画（1日当たり患者数・診療単価・延患者数・外来収益）

外来診療日数	183				183				183				
	令和2年度 4月～12月実績				令和3年度 4月～12月計画				令和3年度 4月～12月実績				
	1日当患者数	診療単価	延患者数	外来収益	1日当患者数	診療単価	延患者数	外来収益	1日当患者数	診療単価	延患者数	外来収益	計画比
内 科	61.2	16,219	11,202	181,687,056	75.0	18,000	13,725	247,050,000	73.9	17,172	13,520	232,170,659	94.0%
呼 吸 器 内 科	3.6	18,729	651	12,192,438	5.0	22,500	915	20,587,500	3.5	17,171	645	11,075,337	53.8%
消 化 器 内 科	16.9	15,287	3,097	47,344,185	20.0	17,000	3,660	62,220,000	16.0	14,152	2,932	41,492,898	66.7%
循 環 器 内 科	26.4	10,642	4,833	51,431,825	28.0	11,500	5,124	58,926,000	29.2	10,827	5,339	57,807,219	98.1%
人 工 透 析 内 科	32.3	30,685	5,920	181,654,475	33.0	31,000	6,039	187,209,000	33.2	30,408	6,070	184,573,960	98.6%
小 児 科	24.5	13,247	4,477	59,308,487	36.0	14,000	6,588	92,232,000	34.9	12,040	6,382	76,836,255	83.3%
外 科	21.6	29,510	3,951	116,593,418	23.0	31,500	4,209	132,583,500	25.3	24,698	4,627	114,276,635	86.2%
整 形 外 科	55.6	6,487	10,183	66,057,836	60.0	6,900	10,980	75,762,000	59.0	6,377	10,794	68,834,053	90.9%
脳 神 経 外 科	0.3	13,899	63	875,653	1.0	19,500	183	3,568,500	0.3	12,475	63	785,898	22.0%
産 婦 人 科	42.2	7,420	7,730	57,357,185	48.0	7,800	8,784	68,515,200	43.3	7,537	7,920	59,692,628	87.1%
皮 膚 科	19.3	2,856	3,524	10,063,606	20.0	3,100	3,660	11,346,000	18.5	2,935	3,392	9,955,368	87.7%
耳 鼻 咽 喉 科	28.1	7,318	5,151	37,696,011	30.0	7,400	5,490	40,626,000	30.0	7,130	5,494	39,174,041	96.4%
眼 科	37.9	10,314	6,930	71,478,495	40.0	11,000	7,320	80,520,000	40.8	10,859	7,470	81,119,267	100.7%
泌 尿 器 科	33.0	19,519	6,036	117,817,149	35.0	20,000	6,405	128,100,000	35.4	16,632	6,476	107,707,189	84.1%
麻 酔 科	15.4	10,802	2,811	30,364,461	16.0	9,000	2,928	26,352,000	15.7	5,384	2,881	15,512,662	58.9%
精 神 科	85.5	8,435	15,655	132,047,374	86.0	8,900	15,738	140,068,200	87.9	7,903	16,084	127,113,909	90.8%
合 計	503.9	12,731	92,214	1,173,969,654	556.0	13,520	101,748	1,375,665,900	546.9	12,270	100,089	1,228,127,978	89.3%

市立病院の経営再建に向けたロードマップ～主要な取組項目～ 【進捗管理表】

○自己評価について  
 「A」・・・予定以上に進捗している（目標以上の成果が上がっている）。  
 「B」・・・概ね予定通り進捗している（目標どおりの成果が上がっている）。  
 「C」・・・予定より進捗がやや遅れている（目標をやや下回っている）。  
 「D」・・・予定より進捗が遅れている（目標を下回っている）。

主要な取組項目	R 1 実績	R 2 実績	R 3 目標	令和3年度 第3四半期までの取組状況	R 2 自己 評価	R 3 自己 評価
(1) 市立病院が担うべき医療の重点化						
◆目標患者数（1日平均）						
・入院患者数（人）	173.1	181.5	200	R3.4～R3.12月 一般149.2人 精神28.3人 計177.5人 （計画 一般170.0人 精神30.0人 計200.0人） ※計画値を下回り、昨年度実績とほぼ同様である。 ※重点医療機関の指定により、陽性患者用の確保病床が空床分を含め16床増加 ※8月の入院患者のコロナ感染発生により新規入院を一時制限 ※引き続き、救急患者の受入れ等を進め、患者数の増加を図る。	C	C
・外来患者数（人）	560.3	504.0	556	R3.4～R3.12月 一般459.0人 精神87.9人 計546.9人 （計画 一般470.0人 精神86.0人 計556.0人） ※計画値とほぼ同様で、昨年度実績を上回っている。 ※検温トリアージの実施、発熱者専用スペース、健診センター設置など、新型コロナ対策の徹底により、外来患者が回復している。 ※R2上半期 492.6人 ⇒ R2下半期 515.5人 ⇒ R3上半期 539.1人	C	B
◆目標診療単価（患者1人当たり）						
・入院単価（円）	43,047	43,810	45,660	R3.4～R3.12月 一般50,839円 精神25,790円 計46,850円 （計画 一般49,252円 精神25,300円 計45,660円） ※計画値、昨年度実績を上回っている。 ※D P C運用の最適化等に取り組み、単価向上を図る。	C	B
・外来単価（円）	12,487	12,738	13,520	R3.4～R3.12月 一般13,107円 精神 7,903円 計12,270円 （計画 一般14,366円 精神 8,900円 計13,520円） ※計画値、昨年度実績を下回っている。 ※健診業務の強化、D P C運用の最適化等に取り組み、単価向上を図る。	C	C
①医療機能の方向性						
・〈入院〉札幌医療圏の病院と連携し、回復期の患者を受入れ	-	実施	⇒	・札幌医療圏の他病院から回復期の患者受入を継続	B	B

主要な取組項目		R1 実績	R2 実績	R3 目標	令和3年度 第3四半期までの取組状況	R2 自己 評価	R3 自己 評価
	・《外来》「開放型病床」の導入（地域全体の医療の質の向上）	-	準備	⇒	・関係機関(医師会)との調整など、「開放型病床」導入に向けた取り組みを実施	C	B
	・《外来》医療資源を地域で共有・活用する取組（看護師等の派遣など）	-	連携強化	⇒	・高度医療機器（CTやMRI等）を地域の医療機関に紹介、利用を推進～「地域医療連携だより」で、令和3年3月に導入したCTのPRを実施 ・看護師等の派遣については、コロナ感染症等の対応を踏まえて検討 ・「江別市医療介護連携推進協議会」へ関係機関として参画 ・「初診時選定療養費」（現行：400円）の適正化を検討（外来機能の重点化）	C	C
	・《在宅医療》訪問看護ステーションの体制強化	-	体制強化	⇒	・コロナ感染症対応のため、6名体制に変更 ⇒院内全体の看護体制を踏まえて、今後の配置計画を引き続き検討 ・訪問看護ステーションと精神科訪問看護の統合予定（令和4年度～）	B	B
②5 疾病の方向性							
	・《がん》「北海道がん診療連携指定病院」の指定	-	検討	⇒	・「緩和ケア認定看護師」の養成を実施 ～令和3年8月から、養成学校に看護師1名を派遣（4月からE-learning）	B	B
③5 事業の方向性							
	・《救急医療》輪番制構築に向けた関係機関との連携強化	-	連携強化	⇒	・コロナ感染症の重点医療機関として、医師会感染症対策関係者会議に参画、地域の医療機関と連携して対応を強化 ・輪番制構築に向けた課題について、関係機関と情報交換を実施 ⇒コロナ感染症への対応状況を考慮しながら、引き続き、医師会や民間医療機関と意見交換を進める。	C	B
④診療科の方向性							
	・精神科の縮小（関係機関との連携、大学医局との調整）	59床	病床縮小	⇒	・稼働病床を縮小を継続（59床→37床） ・精神デイケア部門について、施設利用の最適化のための改修を実施 ・「もの忘れ外来」の継続（R3.4～R3.12までの受診者数：実患者53人） ※高度医療機器を活用した多職種連携による認知症への取り組みを継続 ・認知症疾患医療センター（連携型）の指定に向けた関係機関との調整	A	A
	・皮膚科の縮小又は廃止（市内医療機関との連携、大学医局と調整）	週3日 診療	縮小	⇒	・皮膚科の外来診療日数を縮小（週3日→週2日）し、人件費を縮減 【削減効果額：5,000千円/年】	B	B

主要な取組項目	R 1 実績	R 2 実績	R 3 目標	令和3年度 第3四半期までの取組状況	R 2 自己 評価	R 3 自己 評価
⑤病床規模の方向性						
・一般病床の縮小（稼働病床の縮小）	237床	224床	⇒	・稼働病床の縮小を継続（237床→224床）	B	B
・病床運営の弾力化 （R元年度：出産件数増に対応し、西3病棟を拡張）	38⇒47床	実施	⇒	・西3病棟の拡張を継続して実施 ・休止病棟を感染症対応に有効活用	B	B
・精神病床の段階的縮小	59床	37床	⇒	・稼働病床を縮小（59床→37床） ・病床の効率的な運用（令和3年度第3四半期：病床利用率76.5%） ※多床室の個室の利用等による病床運用の効率化により、病床利用率が向上	A	B
(2) 診療体制の確立						
①診療体制の明確化						
・職員定数の適正化（医療技術職及び看護職）	291人	288人	287人	・職員定数の削減目標（288人⇒287人）（△1人） 【人件費削減効果額：△7,568千円】 ・令和3年12月末現在：283人（△3人）（年度途中退職者の不補充等） 【人件費削減効果見込額：△22,704千円】 ・今後の配置計画を継続的に検討	B	B
・臨床研修医の採用	2人	0人	0人	・令和3年4月に1人を新規採用 ◆令和4年度は2名採用予定（令和3年度臨床研修医マッチングによる採用） ※目標値はR3当初予算での見込み数	C	B
②市立病院が担うべき医療の重点化を踏まえた内科診療体制の構築						
○総合内科医の招聘	4人	4人	4人	・医師招聘に向けた取り組みの実施 （医育大学、民間医療機関、人材紹介会社等への働きかけ） ・令和3年12月現在：5人体制 ◆令和4年1月現在：4人体制（R4.12月末△1人） ※目標値はR3当初予算での見込み数	B	B
○消化器内科医の招聘	1人	2人	2人	・医師招聘に向けた取り組みの実施 （医育大学、民間医療機関、人材紹介会社等への働きかけ） （R3.7月末△1人） ・令和3年12月現在：1人体制 ※目標値はR3当初予算での見込み数	B	C
○循環器内科医の招聘	1人	1人	1人	・医師招聘に向けた取り組みの実施 （医育大学、民間医療機関、人材紹介会社等への働きかけ） ・令和3年12月現在：1人体制 ※目標値はR3当初予算での見込み数	B	B



主要な取組項目	R1 実績	R2 実績	R3 目標	令和3年度 第3四半期までの取組状況	R2 自己 評価	R3 自己 評価
③医師招聘に向けた体制の強化						
○医師招聘を担う専任部門の設置	-	設置	⇒	・顧問及び経営推進監を設置	設置済み	継続配置
○専門医招聘に向けた複数の大学医局への派遣要請の実施	実施	実施	⇒	・大学医局を複数回訪問し、派遣要請を継続的に実施 ⇒夜間・休日における日当直の出張応援回数増加 (救急受入れの増加及び常勤医師の負担軽減に貢献)	継続実施	継続実施
○民間医療機関への派遣要請や人材派遣会社の活用	-	実施	⇒	・民間医療機関への派遣要請や人材紹介会社の活用等の継続	継続実施	継続実施
④「医師の働き方改革」への対応						
○医師事務作業補助者の体制充実	10人	12人	⇒	・12人体制を維持 ・医師事務作業補助者の対応業務拡大(外来部門での活用等を検討) ・人材育成を行いつつ、今後の配置計画を継続的に検討	B	B
⑤看護体制の抜本的見直し						
○2交代制の全面实施	一部	実施	⇒	・令和2年10月から2交代制を全面实施(段階的移行) ※4病棟で実施済み。2病棟(西4病棟及び西5病棟)は移行準備中。 ・各種業務改善や多職種連携によるタスク・シフティングを実施	A	B
○夜勤体制の最適化(2人夜勤の実施など)	-	実施	⇒	・救急診療室の業務見直し(夜間に入院する患者の円滑な受入れ準備等) ・夜間看護管理当直の導入(緊急対応時の応援等) (看護職員2人夜勤については体制が整い次第実施) ・夜勤専従看護補助者の導入(夜間看護体制の体制強化) ⇒看護補助体制加算の取得(令和3年5月)【想定効果額 47,500千円/年】	B	B
○意欲・能力の高い人材の確保・育成(看護協会・看護学校との連携)	-	連携強化	⇒	・看護職員(新卒者)の確保に向けた採用試験を実施 ・看護実習を継続的に受入れ ※看護学校訪問等による働きかけの強化は未実施 ・「認定看護管理者教育課程(サードレベル)」へ看護師を派遣	B	B

主要な取組項目	R1 実績	R2 実績	R3 目標	令和3年度 第3四半期までの取組状況	R2 自己 評価	R3 自己 評価
(3) 経営体制の構築						
①ガバナンス強化						
○院長を中心とするガバナンス強化（明確な目標設定と進捗管理）	-	進捗管理	⇒	・診療実績の分析による各診療科等への働きかけの継続 ⇒次年度の目標設定に向けた各診療科・部門ヒアリングを実施 毎月の診療科別の診療収益の状況を各科主任部長と情報共有、協議を実施	B	B
○事務局参与（非常勤職員）の配置（他の医療機関での事務長経験者）	1名	継続配置	⇒	・配置済み（令和元年10月）	B	B
○事務職員のプロパー化の推進	5人	6人	8人	・令和3年4月現在：8人体制 (R3.4月+2人) ◆医事業務委託の見直しによりR4に向けてさらにプロパー化を推進	B	A
・看護職員や診療技術職の経営部門への配置	-	検討	⇒	・職員定数の適正化の状況を踏まえつつ対応	C	C
②ボトムアップの組織文化の醸成						
○現場レベルでの改善活動・提案の実施	一部	実施	⇒	○各種プロジェクトによる経営改善の推進 ・「DPC最適化」プロジェクト【増収目標：108,600千円】 <<一般病棟入院単価：R2実績：47,467円⇒目標49,252円（+1,785円）>> ・「外来機能重点化」プロジェクト【増収目標：182,000千円】 <<外来単価：R2実績12,738円⇒目標13,992円（+1,254円）>> ・「乳腺外科集患」プロジェクト ～乳がんの正しい知識を広め、早期発見・早期治療の大切さを呼びかける。 （ピンクリボン運動） ～乳がん患者獲得を目的とした当院乳腺外科のPRを行う。 ※経営改善に向けた重要テーマを設定し、ボトムアップ型で取り組み実施	A	A

主要な取組項目	R1 実績	R2 実績	R3 目標	令和3年度 第3四半期までの取組状況	R2 自己 評価	R3 自己 評価
③収益増加策と費用削減策						
○DPC運用の最適化（コーディング精度の向上等）	-	改善実施	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>レセプト精度分析結果を踏まえた改善の実施</li> <li>DPC分析を行う経営支援システムを導入（令和3年3月）</li> <li>DPC最適化に向けたプロジェクトチームの立上げ（令和3年5月）</li> <li>⇒ベンチマーキングを活用し、コーディング精度、指導料等の算定率を向上（令和3年度は、薬剤指導、栄養指導、リハビリテーションを推進）</li> </ul>	B	B
○委託料の削減（R元年度を基準とし、R2～R3で実施）	-	△1.6%	△3.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託料の削減に向けた交渉の実施</li> <li>交渉結果に基づく変更契約の締結</li> <li>令和4年度以降の削減に向けた交渉（放射線機器の包括保守化の検討など）</li> <li>※感染症対策に配慮しつつ、仕様の見直し等を実施</li> <li>令和3年度削減目標額（令和元年度比）△26,774千円</li> </ul>	C	C
○材料費の増加抑制（材料費率の適正管理）	19.2%	17.1%	16.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェネリック医薬品・低額同等品への切替、診療材料の価格交渉の継続</li> <li>FMS方式（臨床検査部門）や院外処方推進の継続</li> <li>※院外処方率～令和元年度実績：83.4%⇒令和3年12月実績：94.1%</li> <li>薬品購入方法の見直し【想定効果額：42,600千円／年】</li> <li>外注検査の見直し【想定効果額：4,000千円／年】</li> <li>令和3年度抑制効果額（当初予算想定）：138,887千円／年</li> </ul>	A	A
(4) 一般会計による公費負担の適正化						
○過去に生じた資金不足に対する支援（集中改革期間中の返済猶予）	-	返済猶予	⇒			

◎収支改善額（千円） 【上段：前年度比、下段：累計】 （令和元年度：純損益 △1,081,208千円）	（前年度比）	364,313	591,716	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度【実績】：純損益 △716,895千円 ①</li> <li>令和3年度【当初計画】：純損益 △125,179千円</li> <li>令和3年度【見込】：純損益 2,220千円 ②</li> <li>○収支改善額【見込】：②－① 719,115千円</li> </ul>	C	-
	（累計）	364,313	956,029	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度改善額【実績】：364,313千円 ③</li> <li>令和3年度改善額【見込】：719,115千円 ④</li> <li>○改善額累計【見込】：1,083,428千円 ③＋④</li> </ul>	C	-

令和4年度病院事業会計予算案（概要）

病 院 長

1 基本方針

令和3年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ感染症」という。）の流行下における病院運営となりましたが、重点医療機関としてコロナ感染症患者の入院受け入れや、発熱外来や帰国者接触者外来の運用を行うなど、感染症対策を行いつながり、職員全員の協力のもとに通常診療を続けることができました。

また、救急患者の積極的受け入れ、健診センターの利用推進、各種指導料の算定向上、材料費をはじめとする費用削減など、収益向上、費用削減にも取り組み、コロナ禍においても着実に経営改善が進んでいることに感謝申し上げます。

収束の兆しが見えないコロナ感染症のまん延により医療体制がひっ迫する中、市立病院の役割の重要性が明らかになりました。また、令和4年度の診療報酬改定においては、入院前後や高度医療機器を活用する外来、紹介患者を中心とする外来のいずれかの機能を有する「紹介受診重点医療機関」が導入されることであり、こうした状況を踏まえて、今後は、感染症への対応のほか、これまで以上に入院患者や救急患者の積極的な受け入れとともに、地域の医療機関と連携しながら外来機能を重点化して、地域医療における中核病院としての役割を果たす必要があります。

このような中、市立病院は、令和5年度の収支均衡に向け策定した「江別市立病院経営再建計画（令和3年度～5年度）」に基づき、令和4年度に地方公営企業法全部適用に移行する予定であり、院内のガバナンスを強化し、自律性や柔軟性を高めることで、職員一丸となって医療の質と経営再建の両立を目指して、取り組むこととしています。

以上の状況を踏まえて、令和4年度の病院事業会計予算においては、国の施策を踏まえて引き続き感染症対応に取り組むとともに、DPC対象病院として急性期医療の充実、制度に対応した収益性の高いマネジメントを実施します。

主な取り組み事項として、診療体制においては、地域の医療機関との連携による「開放病床」を導入するとともに、消化器内科の出張医師体制強化により、診療収益の向上を図ります。

進展する高齢化とともに、高齢の入院患者が増えている状況から、フレイルやサルコペニア等の予防を、これまで以上に推進するため、入院時早期リハビリテーションの充実に取り組みます。

また、連携型認知症疾患医療センターを設置し、地域における精神科医療の充実を図るとともに、健診センターを組織化することで体制強化し、利用者増加を推進します。さらには、医療連携部を患者支援センターに組織改編し、体制強化を図ることで、地域医療機関へのPRを充実し、紹介患者や高度医療機器の利用の増加に取り組みます。医師招へいは、市民にとって必要な医療提供体制の維持と経営改善のための最重要課題であり、引き続き医育大学への働きかけを行うとともに、人材紹介会社を積極的に活用することで、特に内科系診療体制の再構築を進めます。

コロナ感染症は、未だ収束の見通しが見えず、引き続き、ご負担をおかけしますが、経営再建を果たし、市民にとって必要な医療を提供し続けるために、全職員の協力、連携のもとに取組みを進めてまいりたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

## 2 主な取組事項

### (1) DPC対象病院として急性期医療の充実、制度に対応した収益性の高いマネジメントの実施

- ①薬剤指導業務充実のため、引き続き薬剤管理指導の算定率向上を図るとともに、新たに外来化学療法法の連携充実加算の取得に向け取り組みます。
- ②入院患者への早期リハビリテーションを推進するため、医師や看護部、リハビリテーション科等が連携を図りながら診療科や対象患者の拡大に取り組みます。
- ③栄養指導の対象者拡大を図るため、指導件数の少ない診療科への働きかけを強化するとともに、クリニカルパス対象外の特別食提供患者を対象とした入院時ベッドサイド栄養指導に取り組みます。
- ④がん患者等の終末期ケアに対して、チーム医療による医療を提供するため、緩和ケアチームを立ち上げ、患者、家族に対する医療の質の向上を図るとともに、緩和ケア診療加算の取得を目指します。
- ⑤看護相談外来や健診センターとの連携、地域の医療機関の紹介増により、糖尿病予備軍も含めた対象患者の掘り起こしと教育入院も含めた積極的治療を進めます。
- ⑥誤嚥性肺炎患者や長期入院による嚥下機能が低下している患者の口腔機能の向上を目的として、周術期等における口腔機能管理の施設基準取得を目指し、検討チームを立ち上げるなど取り組みを開始します。

### (2) 職員や医療機器などの医療資源の効果的な活用による外来機能の高度化と専門化

- ①新たに連携型の認知症疾患支援センターを設置し、認知症患者やその家族を地域で支援する体制づくりを進めるとともに、もの忘れ外来の診療体制を強化します。

②訪問看護室に精神リハビリテーション室の訪問看護事業を統合し、ターミナルケアや精神科身体合併症への対応を充実するなど、在宅医療提供体制を強化します。体制強化に当たっては、院外を含めた拠点の移設について検討を進めます。

③神経伝導検査装置を更新し、糖尿病神経障害等の検査を充実するとともに、地域の医療機関からの紹介増や教育入院の受入れにより糖尿病治療の充実に取り組みます。

④総合呼吸抵抗測定装置を新たに整備し、気管支喘息の状態把握や慢性閉塞性肺疾患の早期発見など、小児や高齢者の肺機能検査を充実します。

⑤健診センターの利用推進を図るため、業務委託から直営組織に改編するとともに、健診結果により外来受診勧奨に繋げる取り組みを強化します。

### (3) 他の医療機関との連携強化による紹介患者の積極的受入れと逆紹介の推進

「令和4年度診療報酬改定において予定される「紹介受診重点医療機関」（◆重点外来割合：初診40%以上かつ再診25%以上・◆紹介率：初診50%以上、逆紹介率40%以上）を踏まえて

①開放病床を導入し、地域の医療機関との連携を図りながら、入院患者のさらなる紹介増に取り組みます。

②地域連携部を患者支援センターに組織改編し、体制を強化することで、地域の医療機関に対して、当院の高度医療機器の利用や専門外来などのPRを充実し、さらなる紹介患者及び受託検査の増と逆紹介の推進に取り組みます。

③地域における内科救急医療体制の強化を目的として、市内医療機関による輪番制の構築に向けた検討を進めていきます。

### (4) 業務の平準化・効率化による「働き方改革」の推進

①看護体制について、病棟に関しては、経営再建計画に基づき、2交代制の導入を引き続き進めるとともに、業務手順の見直しやICT等の活用により業務軽減を図り、病床利用80%に常時対応できる体制づくりを進めます。また、外来部門に関しては人員配置を再検討し、院内全体の再配置により効率的な体制整備を図ります。

②令和4年度更新予定の電子カルテシステムの更新に併せて、さらなるICT化を進めることとし、電子カルテシステムと連動する通信機能を搭載した医療機器を整備することで、業務の効率化と安全性を高めます。

③電子カルテシステムの更新に当たっては、より操作性が高く、効率的なシステムの構築に取り組むこととし、業務の効率化と安全性を高めます。

- ④本年度更新の人工透析管理システムにより、看護師から臨床工学科へのタスクシフトと人員減を進め、さらなる透析管理業務の効率化を図ります。
- ⑤離床センサーベッドと褥瘡対応マットレスを一定数整備し、医療上の安全性を高めるとともに、看護業務の効率化を図ります。

(5) 市民や医療関係者、求職者等に対する広報活動の充実

- ①病院ホームページをより発信力の高い内容に刷新し、市立病院の医療機能や魅力をアピールすることで、集患と職員採用への応募者の増加に努めます。

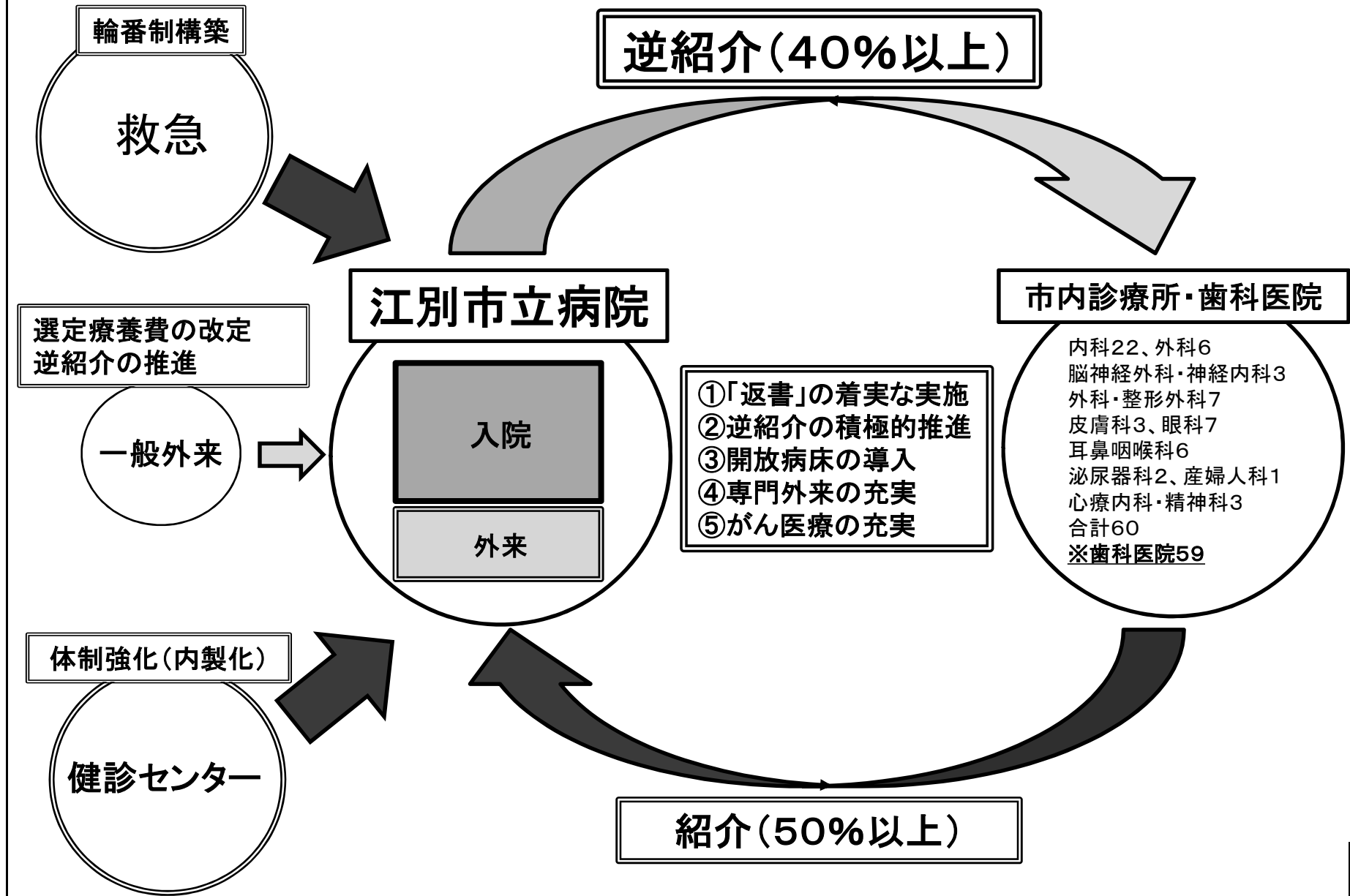
(6) ガバナンス強化と人材育成に資する組織づくり

- ①地方公営企業法の全部適用移行に伴い、これまで以上に経営目標の共有化と意思決定、進捗管理を明確化しガバナンス強化に努めるとともに、課題解決に向けた職員プロジェクトの推進など、ボトムアップの意識醸成により、病院全体で目標達成に取り組む組織づくりに努めます。
- ②医事業務委託業者の変更に伴い、診療報酬の精算部門を直営化し、医事課職員のプロパー化を進めることで、収益分析や企画提案力、査定対応等に対する組織力を強化します。
- ③各職種の認定資格の取得など、医療の質の向上に向けた人材育成を計画的に進めます。認定看護師に関しては、令和4年度は皮膚排泄ケア及び感染管理分野を、令和5年度は慢性心不全看護、摂食嚥下障害看護分野の取得を目指します。

(7) 感染症対応について

- ①重点医療機関としてコロナ感染症患者の入院受け入れや発熱外来及び帰国者・接触者外来の運用を継続し、コロナ感染症への対応を推進します。
- ②市民向け3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を推進し、地域における感染防止対策に貢献します。

【参考】『紹介受診重点医療機関』の導入を踏まえた取り組み《イメージ》





令和4年度 病院事業会計予算案

区	分	29年度決算額	30年度決算額	R1年度決算額	R2年度決算額	R3年度当初予算	R3年度補正1号	R4年度当初予算
【収益の収入及び支出】								
I	病院事業収益	6,519,662	5,807,518	5,455,224	5,767,160	6,555,497	6,704,616	(単位:千円,税込) 7,146,223
1	医療収益	5,899,703	5,182,804	4,836,613	5,109,201	5,801,640	5,867,274	6,291,180
	(1)診療収益	5,440,079	4,742,978	4,413,027	4,462,080	5,152,335	4,714,837	5,245,532
	入院収益	3,441,752	2,923,782	2,776,098	2,901,995	3,333,148	3,111,208	3,427,600
	外来収益	1,998,327	1,819,196	1,666,029	1,560,085	1,819,187	1,603,629	1,817,932
	(2)公衆衛生活動収益	24,570	26,552	24,583	46,208	172,015	145,833	36,510
	(3)その他医療収益	435,054	413,274	399,003	600,913	477,290	1,006,604	1,009,138
2	医療外収益	619,959	624,714	618,611	629,933	682,967	766,452	718,852
3	特別利益	0	0	0	32,026	70,890	70,890	136,191
II	病院事業費用	7,212,727	6,946,639	6,534,311	6,481,527	6,677,479	6,698,087	6,974,073
1	医療費用	6,965,265	6,723,353	6,347,576	6,269,171	6,389,120	6,380,340	6,719,383
	(1)給与費	3,963,590	3,877,627	3,648,866	3,656,315	3,770,540	3,801,769	4,067,467
	(2)材料費	1,146,973	1,013,639	927,978	874,877	975,028	897,207	935,129
	(3)経費	1,294,373	1,275,754	1,227,561	1,215,660	1,187,510	1,225,322	1,270,309
	(4)その他 (うち減価償却費)	560,329	556,333	543,171	522,319	456,042	456,042	446,476
		(526,547)	(523,843)	(512,908)	(498,385)	(419,481)	(419,481)	(389,926)
2	医療外費用	231,605	215,514	177,639	163,443	182,422	206,610	242,071
3	特別損失	15,857	7,772	9,096	48,913	100,937	106,137	7,619
4	予備費	0	0	0	0	5,000	5,000	5,000
	収益の収支差し引き	△693,065	△1,139,121	△1,079,087	△714,367	△121,982	△172,150	172,150

区	分	29年度決算額	30年度決算額	R1年度決算額	R2年度決算額	R3年度当初予算	R3年度補正1号	R4年度当初予算
【資本的収入及び支出】								
I	資本的収入	694,131	650,220	599,486	779,537	777,684	1,107,143	(単位:千円) 1,830,736
1	企業債	211,000	159,000	109,000	183,200	322,700	334,300	1,347,700
2	出資金	477,318	491,220	490,486	489,346	454,984	454,984	433,036
3	補助金	5,283	0	0	106,991	0	317,859	50,000
4	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0
5	香附金ほか	530	0	0	0	0	0	0
II	資本的支出	1,137,089	1,104,704	1,044,287	1,086,826	1,054,994	1,383,186	2,213,125
1	建設改良費	223,268	166,521	111,215	282,667	326,258	664,450	1,397,770
2	投資	1,800	360	0	0	0	0	0
3	基金積立金	0	0	0	0	0	0	134,418
4	企業債償還金	787,333	813,010	808,135	804,159	728,736	728,736	680,937
5	長期借入償還金	124,688	124,813	124,937	0	0	0	0
	資本的収支差し引き	△442,958	△454,484	△444,801	△307,289	△277,310	△286,043	△382,389
【営業運転資金に充てる借入金】								
一般会計長期借入金	0	600,000	1,300,000	0	0	0	0	(単位:千円) 0
特別減収対策企業債	0	0	0	0	607,500	0	0	0

区	分	29年度決算額	30年度決算額	R1年度決算額	R2年度決算額	R3年度当初予算	R3年度補正1号	R4年度当初予算
【欠損金及び不良債務等】								
総損益		△695,413	△1,141,339	△1,081,208	△716,895	△125,179	2,220	(単位:千円) 166,754
累積欠損金		8,968,902	10,110,241	11,191,449	11,908,344	12,033,523	11,906,124	11,740,370
単年度資金収支額		△560,123	△372,760	249,316	166,634	99,561	293,165	266,214
不良債務残高		1,037,578	1,416,548	1,038,323	886,951	743,567	577,361	595,537

区	分	29年度実績	30年度決算額	R1年度決算額	R2年度決算額	R3年度当初予算	R3年度補正1号	R4年度当初予算
【一般会計繰入金の状況】								
一般会計繰入金合計		1,394,790	1,385,997	1,406,857	1,591,880	1,513,632	1,513,632	1,467,567
収益的収入		917,901	894,777	916,371	1,033,267	1,058,648	1,058,648	984,463
医療収益		356,057	329,591	349,193	433,275	347,642	347,642	359,185
医療外収益		561,844	565,186	567,178	567,966	640,216	640,216	625,282
特別利益		0	0	0	32,026	70,790	70,790	0
資本的収入		476,889	491,220	490,486	558,613	454,984	454,984	483,036
(参考)繰入金通常分		1,394,790	1,385,997	1,406,857	1,433,119	1,442,842	1,442,842	1,417,503

【患者数の状況】		29年度実績		30年度実績		R1年度決算額		R2年度決算額		R3年度当初予算		R3年度補正1号		R4年度当初予算		
区	分	年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均	
患者数 (人)	入院	一般	71,139	195	58,066	159	53,749	147	55,508	152	62,050	170	55,799	153	60,225	165
		精神	9,074	25	8,518	23	9,601	26	10,733	29	10,950	30	10,555	29	12,775	35
		計	80,213	220	66,584	182	63,350	173	66,241	181	73,000	200	66,354	182	73,000	200
病床利 用率 (%)	病床 計	外	164,483	674	149,033	611	135,025	560	122,474	504	134,552	556	130,458	539	138,996	572
		一般	701		631		634		679		759		682		737	
		精神	421		396		445		795		811		782		814	
		652		58.5		59.5		69.5		76.6		69.7		74.9		

※病床利用率は病床を除いて計算

【R30年10月～R11.10:一般228床】 ⇒ 【R1年11月～:一般237床】 ⇒ 【R2年4月～:一般224床、精神97床】 ⇒ 【R4年4月～:一般224床、精神43床】

## 令和4年度病院事業会計予算における業務予定量の概要

項 目			年 度	令和4年度	令和3年度		当初予定比較		最終予定比較		備 考
				予 定(案) A	当初予定 B	最終予定 C	A-B	増減率 (%)	A-C	増減率 (%)	
1 収入に関する事項	(1) 患者数(人)	入院	延患者数	73,000	73,000	66,354	0	0.0	6,646	10.0	
			1日平均患者数	200	200	182	0	0.0	18	9.9	
		外来	延患者数	138,996	134,552	130,458	4,444	3.3	8,538	6.5	
			1日平均患者数	572	556	539	16	2.9	33	6.1	
		計	延患者数	211,996	207,552	196,812	4,444	2.1	15,184	7.7	
			1日平均患者数	772	756	721	16	2.1	51	7.1	
	(2) 診療単価(円/人)	入院	46,953	45,660	46,888	1,293	2.8	65	0.1		
		外来	13,079	13,520	12,292	△441	△3.3	787	6.4		
	(3) 病床利用率(%)	一般病床	73.7	75.9	68.2	△2.2	-	5.5	-	※	
		精神病床	81.4	81.1	78.2	0.3	-	3.2	-	※	
		全 体	74.9	76.6	69.7	△1.7	-	5.2	-		
	2 支出に関する事項	(1) 患者1人1日当たり費用(税抜き)(円)	薬品費	2,093	2,460	2,028	△367	△14.9	65	3.2	対入院及び外来延患者数
診療材料費			1,991	1,935	2,195	56	2.9	△204	△9.3	〃	
(2) 対診療収益比率(税抜き)(%)		薬品費	8.5	9.9	8.5	△1.4	-	0.0	-	対入院及び外来収益	
		診療材料費	8.1	7.8	9.2	0.3	-	△1.1	-	〃	

※ 病床利用率は稼働病床数で算出

令和3年度: 一般病床224床、精神病床37床

令和4年度: 一般病床224床、精神病床43床

## 令和4年度病院事業会計予算総括表

(収益的収入及び支出)

(単位:千円、%)

科 目	令和4年度 予算額(案)A	令和3年度 当初予算額 B	令和3年度 最終予算額 C	当初予定との比較		最終予定との比較		備 考
				A-B	増減率	A-C	増減率	
○病院事業収益	7,146,223	6,555,497	6,704,616	590,726	9.0	441,607	6.6	患者数 (R4年度予定) (R3年度当初予定)
1 医業収益	6,291,180	5,801,640	5,867,274	489,540	8.4	423,906	7.2	入院 73,000 (200人/日) 73,000 (200人/日)
(1) 診療収益	5,245,532	5,152,335	4,714,837	93,197	1.8	530,695	11.3	外来 138,996 (572人/日) 134,552 (556人/日)
入院収益	3,427,600	3,333,148	3,111,208	94,452	2.8	316,392	10.2	病床利用率 (R4年度予定) (R3年度当初予定)
外来収益	1,817,932	1,819,187	1,603,629	△1,255	△0.1	214,303	13.4	一般 73.7 % 75.9 % 精神 81.4 % 81.1 %
(2) 公衆衛生活動収益	36,510	172,015	145,833	△135,505	△78.8	△109,323	△75.0	
(3) その他医業収益	1,009,138	477,290	1,006,604	531,848	111.4	2,534	0.3	一般会計繰入金359,185千円、病床確保補助金619,040千円ほか
2 医業外収益	718,852	682,967	766,452	35,885	5.3	△47,600	△6.2	一般会計繰入金625,282千円(補助金342,367千円、負担金282,915千円)ほか
3 特別利益	136,191	70,890	70,890	65,301	92.1	65,301	92.1	医師確保対策特別引当金取り崩し(基金化)133,496千円ほか
○病院事業費用	6,974,073	6,677,479	6,698,087	296,594	4.4	275,986	4.1	
1 医業費用	6,719,383	6,389,120	6,380,340	330,263	5.2	339,043	5.3	
(1) 給与費	4,067,467	3,770,540	3,801,769	296,927	7.9	265,698	7.0	医師40人(うち会計年度任用職員6人)、看護職員300人(うち会計年度任用職員81人)ほか
(2) 材料費	935,129	975,028	897,207	△39,899	△4.1	37,922	4.2	薬品費443,772千円、診療材料費464,230千円ほか
(3) 経費	1,270,309	1,187,510	1,225,322	82,799	7.0	44,987	3.7	委託料874,732千円、燃料費87,051千円、光熱水費80,513千円ほか
(4) その他	446,478	456,042	456,042	△9,564	△2.1	△9,564	△2.1	減価償却費389,926千円、資産減耗費19,160千円、研究研修費37,392千円
2 医業外費用	242,071	182,422	206,610	59,649	32.7	35,461	17.2	支払利息66,594千円ほか
3 特別損失	7,619	100,937	106,137	△93,318	△92.5	△98,518	△92.8	
4 予備費	5,000	5,000	5,000	0	0	0	0	
○収支差引額	172,150	△121,982	6,529	294,132	241.1	165,621	2,536.7	

(資本的収入及び支出)

(単位:千円、%)

科 目	令和4年度 予算額(案)A	令和3年度 当初予算額 B	令和3年度 最終予算額 C	当初予定との比較		最終予定との比較		備 考
				A-B	増減率	A-C	増減率	
○資本的収入	1,830,736	777,684	1,107,143	1,053,052	135.4	723,593	65.4	
1 企業債	1,347,700	322,700	334,300	1,025,000	317.6	1,013,400	303.1	医療器械器具等整備事業債等
2 出資金	433,036	454,984	454,984	△21,948	△4.8	△21,948	△4.8	一般会計繰入金
3 補助金	50,000	0	317,859	50,000	—	△267,859	△84.3	一般会計繰入金(地方創生臨時交付金)
4 固定資産売却収入	0	0	0	0	—	0	—	
○資本的支出	2,213,125	1,054,994	1,393,186	1,158,131	109.8	819,939	58.9	
1 建設改良費	1,397,770	326,258	664,450	1,071,512	328.4	733,320	110.4	病院施設等整備工事費、医療器械器具等購入費
2 基金積立金	134,418	0	0	134,418	—	134,418	—	基金積立金134,418千円
3 企業債償還金	680,937	728,736	728,736	△47,799	△6.6	△47,799	△6.6	病院事業償還金680,937千円
○収支差引額	△382,389	△277,310	△286,043	△105,079	△37.9	△96,346	△33.7	

(当年度純損益、累積欠損金及び不良債務等)

(単位:千円、%)

○当年度純損益	165,754	△125,179	2,220	290,933	232.4	163,534	7,366.4	
○累積欠損金	11,740,370	12,033,523	11,906,124	△293,153	△2.4	△165,754	△1.4	
○単年度資金収支	266,214	153,838	293,165	112,376	73.0	△26,951	△9.2	
○不良債務残高	595,537	743,567	577,361	△148,030	△19.9	18,176	3.1	

令和4年度一般会計繰入金内訳調書

(単位:千円)

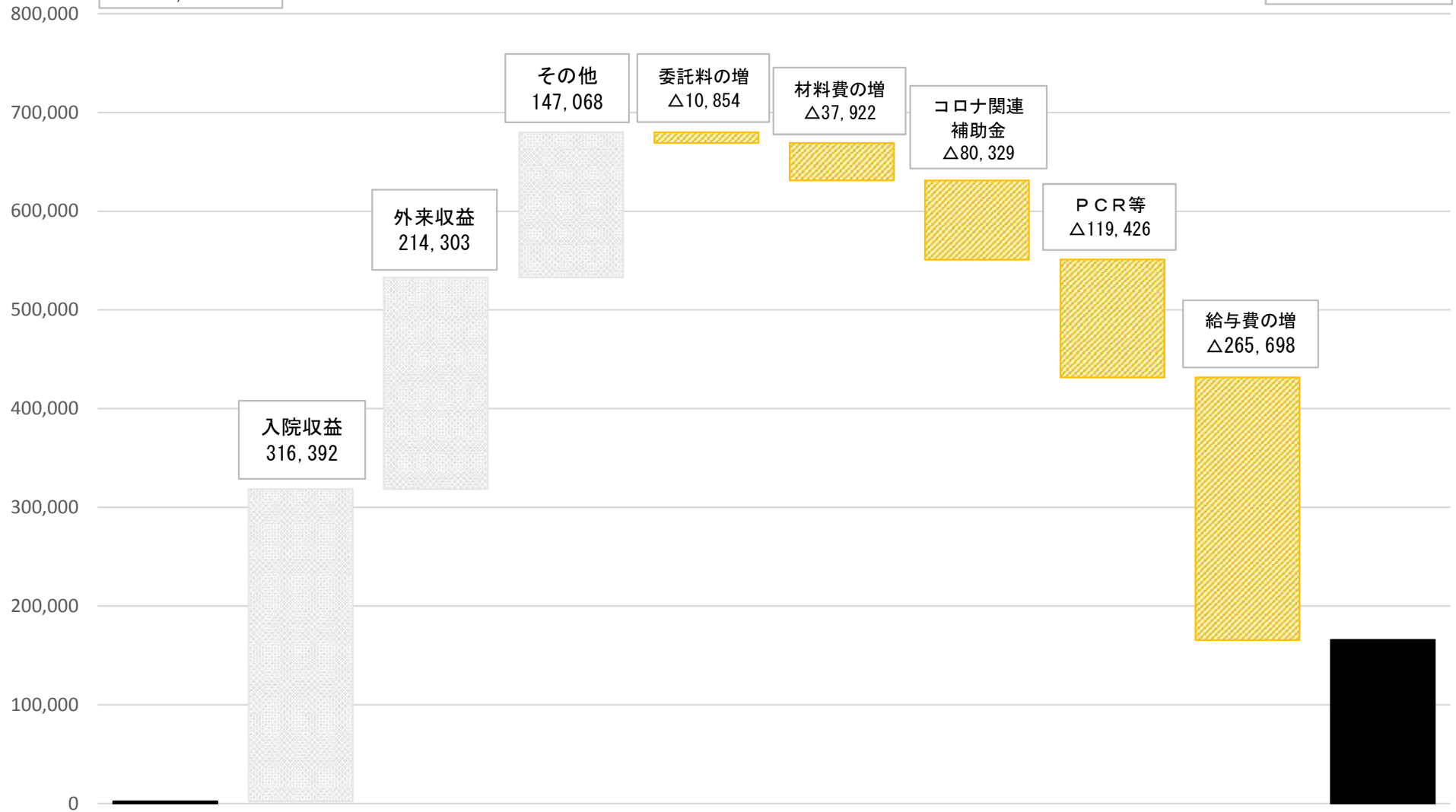
区 分			繰 入 基 準	令和4年度 予定額(案)A	令和3年度 最終予定額B	比 較 A-B	根拠法令	備 考		
収 益 業 的 外 収 入	医 業 収 益	負担金	救急医療の確保に要する経費	運営収支不足額	359,185	347,642	11,543	地方公営企業法第17条の2第1項第1号		
		医業収益 計				359,185	347,642	11,543		
	医 担 金	負 担 金		病院の建設改良費に要する経費(企業債償還利子)	平成14年度債以前分2/3、平成15年度債以降分1/2、精神建物分3/3	44,804	51,542	△6,738	地方公営企業法第17条の2第1項第2号	
				精神病院の運営に要する経費	医業収支不足額(交付税措置基準見込額を上限)	127,802	118,952	8,850		
				リハビリテーション医療に要する経費	運営収支不足額	43,288	34,668	8,620		
				小児医療に要する経費	医業収支不足額	56,326	54,874	1,452		
				高度医療に要する経費(剖検、高額医療機器)	剖検所要額、高額医療機器(企業債償還元利1/4)	10,695	22,038	△11,343		
				医業外収益 負担金 小計		282,915	282,074	841		
	補 助 金	補 助 金		医師及び看護師等の研究研修に要する経費	所要額×1/2	19,721	14,779	4,942	地方公営企業法第17条の3	
				病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費	所要額	31,412	29,923	1,489		
				医師確保対策に要する経費	勤務環境改善(医師手当10/10、出張医報酬1/4)、 医師確保(研修医給与1/2)	107,963	91,484	16,479		
				在宅診療に要する経費	医業収支不足額×2/3	16,692	15,349	1,343		
				地域医療連携に要する経費	医業収支不足額×1/3	16,004	16,975	△971		
				産科医療に要する経費	所要額(分娩手当医師支給分)、所要額(医師及び 助産師等給与費)×1/4	43,787	89,409	△45,622		
				一時借入金の利子補給に要する経費	所要額×1/2	224	408	△184		
				基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	所要額	88,158	80,845	7,313		
				児童手当に要する経費	所要額	17,798	18,364	△566		
				減収対策特別企業債利子補給経費(新型コロナウイルス感染症)	所要額×1/2	608	606	2		
		医業外収益 補助金 小計		342,367	358,142	△15,775				
		医業外収益 計		625,282	640,216	△14,934				
特別 利	補助 金		経営再建支援補助金	一般会計・上下水道会計給与削減相当分	0	70,790	△70,790	地方公営企業法第17条の3		
合 計				984,467	1,058,648	△74,181				
資 本 的 収 入	出 資 金		病院の建設改良費に要する経費(企業債償還元金)	平成14年度債以前分2/3、平成15年度債以降分1/2、精神建物分3/3	431,536	453,484	△21,948	地方公営企業法第17条の2第1項第2号		
			病院の建設改良費に要する経費	企業債対象外建設改良費の1/2	1,500	1,500	0			
		資本的収入 出資金 小計		433,036	454,984	△21,948				
	補助 金		建設改良等経費(新型コロナウイルス感染症対策)	所要額×10/10	50,000	0	50,000	地方公営企業法第17条の3		
	資本的収入 補助金 小計		50,000	0	50,000					
合 計				483,036	454,984	28,052				
総 合 計				1,467,503	1,513,632	△46,129				
交 付 税 推 計	普通交付税				514,559	526,337	△11,778	令和4年度 数値は令和 3年度の基 準で算定		
	特別交付税				158,191	158,191	0			
	合 計				672,750	684,528	△11,778			
繰入金総額に対する交付税措置の割合(%)				45.8	45.2	0.6				

令和4年度収支改善の要因分析①  
 (令和3年度補正予算(第1号)と令和4年度当初予算の比較)

(単位:千円)

R 3 補正  
 純利益  
 2, 220

R 4 当初予算  
 純利益  
 165, 754



令和4年度収支改善の要因分析②  
 (令和元年度実績と令和4年度当初予算の比較)

(単位:千円)



○令和4年度 江別市病院事業会計予定貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
1 固定資産	(1) 有形固定資産	8,075,053	3 固定負債	(1) 企業債	4,594,076
	(2) 無形固定資産	853		(2) 他会計借入金	2,150,500
	(3) 投資その他の資産	135,498		(3) 引当金	17,357
	合計	8,211,404		固定負債合計	6,761,933
2 流動資産	(1) 現金預金	310,702	4 流動負債	(1) 一時借入金	600,000
	(2) 未収金	732,266		(2) 企業債	666,410
	(3) 貯蔵品	12,329		(3) 他会計借入金	125,062
	合計	1,055,297		(3) 未払金	679,422
				(4) 引当金	223,362
		(5) 預り金		22,988	
		流動負債合計		2,317,244	
		5 繰延収益	528,850		
		○負債合計	9,608,027		
		<b>資本の部</b>			
		6 資本金	11,352,466		
		7 剰余金	(1) 資本剰余金	46,578	
			(2) 欠損金	△ 11,740,370	
			剰余金合計	△ 11,693,792	
		○資本合計	△ 341,326		
○資産合計		9,266,701	○資本負債合計	9,266,701	